

# 時々日報

(後編)

2008年(平成20年)

12月19日

金曜日

# 報告会、開催

## 合言葉は「愉しむ」

### リサーチ&エンターテイメント時代へ

大阪大学サイエンスシ

ョップは、十二月十一日、

大阪大学豊中キャンパス基

礎工学部J棟一階のオレン

ジシヨップで、短期研究調

査プロジェクト第二回 発

表会「冬の宴」を開催。学

外からの参加者も含め、約

二十名が集まった。熱い発

表と議論の繰り返しに、冬

の寒さも吹き飛ぶ。

本紙では特集を組み、十

二月十六日号で前編をお届

けた。Dream Tea

mとTeam 3Sec

の発表で、熱を帯びた会場

そして、満を持して、桜組

が動き出す。冬の宴(後編)

へと御案内—

発表のトリを務めるのは

桜組。桜組は「温暖化が進

む中で、花見(桜)はいつ

までできるのか」をテーマ

にしている。今回は、百年

後の桜の開花予測、バーチ

ャル花見実験、花見の将来

シナリオが報告された。

「Welcome to

Our program!

Here we go!」

胡散臭いラジオDJ風の

アナウンスの後に、本紙八

月二十二日号で取り上げ

た、桜組のプロモーション

ビデオが流れた。鮮烈な

オープニングであった。

バーチャル花見実験の報

告では、インタビュ形式

を取り入れ、手作り感や

ユーモアを演出。アナログ

な段ボール製目線(途中か

ら手を放すというコネタ

込)と音声変換(田中真紀

達)と音声を演じた。

「今回の発表コンセプト

はスタイリッシュ。映像と

音楽を駆使したスタイルを

提示したかった」と関係者

は語る。その願いは、学生

に届いただろうか。

全発表を評し、平川代表

は「今後はR&D(リサー

チ&デイベロップメント)

子様式)は、一部マニアの

笑いのツボを突いた。

花見の将来シナリオで

は、ビデオで「花見ができ

なくなるなんて、私、嫌。

何とかしてよ」という女性

が登場。無理難題に「どう

する、俺」と戸惑う男性。

そのビデオを受けてフロア

に対し「防衛」「発明」「変

革」「決別」の選択を迫る

という仕掛けだ。

「決別」のカードが選ば

れると、その後の物語が動

画で展開された。すべての

動画は近日公開予定とのこ

と。気になる人はブログを

要チェックだ。

へと一同は向かった。

【参加者の声】

・自由に研究が広がって

いく感じがした。

・中間発表を見ていな

かったので、分かりづらい

箇所があった。

【発表者の声】

・サイエンスシヨップの

関係者以外の方に多く来て

頂けたことが嬉しかった。

・「(ネタが)中途半端

や」と仲間と言われた。大

阪人として悔しいです。



あなたなら、どうする？



寒い中、集まってくれたお客様